

2025年2月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ グ ザ グ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 仲 里 一 義
(コード番号：340A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 北 村 康 晃
TEL. 03-6777-7189 (代表)

2025年5月期の業績予想について

2025年5月期（2024年6月1日から2025年5月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【 個 別 】

(単位：百万円、%)

項 目 \ 決算期	2025年5月期 (予想)			2025年5月期 中間期累計期間 (実績)		2024年5月期 (実績)	
		対売上高 比率	対前期増 減率		対売上 高比率		対売上 高比率
売上高	1,427	100.0	29.0	693	100.0	1,106	100.0
営業利益	285	20.0	29.1	174	25.2	221	20.0
経常利益	284	20.0	60.1	164	23.8	177	16.1
当期(中間)純利益	206	14.4	26.1	106	15.4	163	14.7
1株当たり当期 (中間)純利益	105円9銭			54円45銭		83円34銭	
1株当たり配当金	0円00銭			0円00銭		0円00銭	

- (注) 1. 当社は連結財務諸表及び中間連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2024年5月期(実績)及び2025年5月期中間期累計期間(実績)の1株当たり当期(中間)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 2025年5月期(予想)の1株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数により算出しております。
4. 2024年8月29日付で普通株式1株につき15株の割合で株式分割を行っております。2024年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期(中間)純利益を算定しております。

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いします。

【 2025 年 5 月期業績予想の前提条件 】

(当社全体の見通し)

越境 EC 市場では、新型コロナウイルスによる渡航制限下において、国境を越えた購買体験が当たり前になるという変化が起きました。海外販売へ取り組む事業者の意識が高まり、渡航制限解除後も市場拡大が続いています。今後もデジタル化の更なる進展によって、特に日本では他国より低い EC 化率の改善が見込まれるほか、消費者の視点では、アジア圏を中心に所得水準の向上に伴う購買力増加によって市場拡大が見込まれています。また、訪日インバウンド旅行客の増加は旅アト消費に繋がる効果も期待されています。2022 年 12 月 eMarketer 公表データによれば、世界の国内向け BtoC EC 市場規模は、2022 年の 5.4 兆ドルから 2026 年には 7.6 兆ドルへ成長すると予測されています。一方で、Facts&Factors 発表データによれば、世界の越境 EC 市場規模は 2021 年の 0.7 兆ドルから 2030 年に 7.9 兆ドルまで成長し、越境 EC 市場が国内向け BtoC EC 市場を上回ると見込まれています。越境 EC 市場がより高い成長を実現すると予測される背景には、消費者目線で捉えれば自国にない商品への購買欲求の増大、自国よりも安価な購入機会増加を通じて越境 EC 市場の認知度が上昇すると考えられるためです。また EC 事業者目線では、自国以外の顧客への販売機会増加、越境販売を容易にする物流サービスや支援サービスが充実すると考えられるためです。

このような市場環境の中で、当社は「世界中の欲しいに答える、世界中に想いも届ける」サービスを実現するため、世界中のカスタマーと国内 EC サイトに常に向き合い課題に応じたソリューションを提供しています。テクノロジーの進歩によって、今後更に国境の壁がなくなる中、増加し続けるニーズと複雑化する課題に応え続ける為に既存機能の改善及び新機能の充実を図り、プロダクトとサービスの価値を高めていく引き続き機能追加を行っていく予定です。

このような状況のもと、2025 年 5 月期当社の業績につきましては、海外売上実績のある Active ショップ数は 1,295shop と見込み、売上 1,427 百万円（前期比 29.0%増）、営業利益 285 百万円（前期比 29.1%増）、経常利益 284 百万円（前期比 60.1%増）、当期純利益 206 百万円（前期比 26.1%増）を予想しております。なお当該予想数値については 2024 年 6 月から 2024 年 12 月までの実績、及び 2025 年 1 月以降の見込み数値を合算して策定した数値となっております。

また、当社のコーポレート・ミッションの実現及び持続的な成長と企業価値向上を表す指標として、売上高及び営業利益を経営上重要な指標として位置付けております。売上高の達成状況を判断するうえで、取扱高(GMV)および月間 Active ショップ数・月間リピートカスタマー数を重要な指標として位置付けております。

	2021 年 5 月期	2022 年 5 月期	2023 年 5 月期	2024 年 5 月期	2025 年 5 月期 中間期
取扱高(GMV) (千円) (注 1)	1,683,076	2,350,293	3,484,856	4,995,761	3,179,008
売上高 (千円) (注 2)	413,634	559,634	802,021	1,106,229	693,368
月間 Active ショップ数 (Shop) (注 3)	384	549	864	1,151	1,238
月間リピートカスタマー数 (人) (注 4)	1,785	2,379	3,050	5,075	5,824

注 1. 取扱高(GMV) : Gross Merchandise Value の略称です。海外送料も含めた「WorldShopping」の出荷ベースでの決済総額、「WorldShoppingBIZ」の課金額及びその他売上の合計値となります。

注 2. 売上高 : 損益計算書上に表示される売上高です。「WorldShopping」の手数料、「WorldShoppingBIZ」の課金額及びその他売上の合計値となります。

注 3. 月間 Active ショップ数 : 「WorldShoppingBIZ」導入ショップのうち、当月に海外売上実績があるショップ数です。2025 年 5 月期中間期を除く表中の数字は第 4 四半期の平均値、2025 年 5 月

ご注意 : この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いします。

期中間期における表中の数字は第2四半期の平均値となります。

注4. 月間リピートカスタマー数：当月に「WorldShopping」を利用するカスタマーのうち、過去12か月以内にリピート利用実績があるカスタマー数です。2025年5月期を除く表中の数字は第4四半期の平均値、2025年5月期中間期における表中の数字は第2四半期の平均値となります。

(売上高)

当社は越境ECプラットフォーム事業を営む単一セグメントではありますが、提供するサービスは、海外カスタマー向け購入支援サービス「WorldShopping」と国内ECサイト向け越境EC支援サービス「WorldShoppingBIZ」から構成されます。

「WorldShopping」の売上高は、海外カスタマーからの購入依頼に対する従量売上（購入代行手数料及び配送手数料）であり、売上高の約94%（2024年5月期実績）を占めています。売上高の予算作成時は、見込みの取扱高(GMV)に想定テイクレート(GMVに対する売上高の比率)を乗じて算出しています。見込み取扱高(GMV)は売上規模でカテゴリー分けしたECショップ群に対して、新規ショップの増加及び既存ショップの成長を見込んで算出しています。想定テイクレートは直近半年間の実績に基づいて算出しております。

「WorldShoppingBIZ」の売上高は、WorldShopping BIZを導入する国内ECサイトからの初期導入費用及び月額利用料等から構成されております。新規導入ECショップの数を直近半年間の実績や営業活動の状況を合理的に見込み作成しています。

海外カスタマーから日本商品への需要は高く、それに応えて国内ECサイトの越境ECへの意欲も高まっています。以上より、売上高は前年事業年度比29.0%増の1,427百万円を見込んでおります。2025年5月期中間期までの実績累計では、売上高は693百万円を達成（年間進捗率48.6%）しております。2025年5月期中間期までの実績は予算に対して好調に推移しておりますが、現時点で通期見通しは変更しておりません。

(売上原価、売上総利益)

売上原価は、当社サービスである「WorldShopping」と「WorldShoppingBIZ」の運用にかかるロジスティック・カスタマーサポート部門、システム部門の人件費および経費から構成されております。

売上原価は売上拡大に伴い増加を見込んでおり前年事業年度比35.6%増の483百万円、売上総利益は前年事業年度比25.9%増の943百万円を見込んでおります。2025年5月期中間期までの実績累計では、売上原価は223百万円、売上総利益は469百万円を達成（年間進捗率49.7%）しております。2025年5月期中間期までの実績は予算に対して好調に推移しておりますが、現時点で通期見通しは変更しておりません。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は主に人件費、外注費、支払手数料で構成されております。

人件費、外注費については、当社の事業拡大対応する人員および人的資本に関わる戦略を通じた人材確保、育成のため、増加を見込んでおります。

支払手数料は、取扱高(GMV)の増加に伴い、従量的に発生する決済手数料の増加を見込んでおります。

この結果、販売費及び一般管理費は前事業年度比24.6%増の658百万円を、営業利益は前事業年度比29.1%増の285百万円を見込んでおります。2025年中間期までの実績累計では、販売費及び一般管理費は294百万円、営業利益は174百万円を達成（年間進捗率61.2%）しております。2025年5月期中間期までの実績は予算に対して好調に推移しておりますが、現時点で通期見通しは変更し

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

ておりません。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は主に、受取利息であり、0百万円、営業外費用は主に支払利息であり、0百万円を見込んでおります。その結果、当社の2025年5月期の経常利益は前事業年度比60.1%増の284百万円を見込んでおります。2025年中間期までの実績累計では、経常利益は164百万円を達成(年間進捗率57.9%)しております。2025年5月期中間期までの実績は予算に対して好調に推移しておりますが、現時点で通期見通しは変更しておりません。

(特別損益、当期純利益)

特別損益に関しては見込んでいない事項はありません。その結果、当社の2025年5月期の当期純利益は法人税等78百万円を差引き、前事業年度比26.1%増の206百万円を見込んでおります。2025年中間期までの実績累計では、中間純利益は106百万円を達成(年間進捗率51.8%)しております。2025年5月期中間期までの実績は予算に対して好調に推移しておりますが、現時点で通期見通しは変更しておりません。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。今後業績予想の見通しに変化があった場合は適時に修正致します。

以上

ご注意： この文書は記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いします。